

日本医師会生涯教育講座 (2単位 cc:0.10.15)
(公財) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定
(一社) 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内
厚生労働省
神奈川県
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、神奈川県及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1 日時 平成31年3月2日(土) 午後3時～午後6時15分

2 場所 TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい
横浜市西区みなとみらい3丁目6-3

3 内容

コーディネーター

講演	昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科 教授	岡本 健一郎 先生
講演	「オピオイド鎮痛薬の安全な使い方」 昭和大学病院 緩和医療科 教授	樋口 比登実 先生
講演	「緩和薬物治療における薬剤師の役割～薬剤師を活用してください～」 横浜新緑総合病院 薬剤部 参与	藤本 康嗣 先生
講演	「在宅で医療用麻薬を安全かつ有効に使用するために」 湘南中央病院 在宅診療科 医長	奥野 滋子 先生
講演	「医療用麻薬の適正管理について」 神奈川県健康医療局生活衛生部薬務課 献血・薬物対策グループ	植村 知子 先生

質疑応答 パネルディスカッション

4 対象者 医療関係者 (260人)

5 参加費 無料

6 主催 厚生労働省 神奈川県
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (公社) 神奈川県医師会 (公社) 神奈川県薬剤師会

8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 事務局 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (富澤・白井)
電話 03-5544-8436

10 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ(<http://www.dapc.or.jp>)よりお申し込みください。

FAXによるお申し込みも受け付けております。(03-5544-8473)

2月28日(木)まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

11 サテライト会場

本講習会については、厚生労働省が、埼玉県、千葉県及び東京都に設置するサテライト会場に中継が行われます。サテライト会場については別途お申込が必要ですので(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ(<http://www.dapc.or.jp>)からお申込ください。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」
参加申込書（FAX）

申込先FAX番号：03-5544-8473

平成 年 月 日

会場	TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい		
日時	平成31年3月2日（土） 午後3時～午後6時15分		
ふりがな			
氏名			
職種	医師 歯科医師 薬剤師 看護師 その他の医療関係職種（ ）		
所属	病院 診療所 保険薬局 その他（ ）		
住所	都道府県	市区町村	
連絡先	FAX：（ ）	－	
	Eメール：	@	
受講証明	<input type="checkbox"/> 医師生涯教育講座 <input type="checkbox"/> 薬剤師研修センターシール <input type="checkbox"/> 緩和医療薬学会シール		
質問 (講習会の最後にパネル形式で質疑応答を行います。)			

- (注) 1 この申込書の個人情報は、本講習会関係事務以外には使用いたしません。また、お送りいただいた申込書は講習会終了後速やかに破棄いたします。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことがありますのでご承知おきください。その場合は、2月25日までにFAXでご連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。